

# 大豆新聞

平成 23 年 6 月発行  
この新聞は小金屋食品  
株式会社が社会貢献活  
動の一環として発行し  
ています

産・学・民の連携

な思いから始まつたこの新商品開発プロジェクトは、ついに商品を販売するまでに至りました。商品名は「竹姫納豆」です。お土産としておすすめできる一品です。食べた感想を、できるだけ多くの方からお寄せいただきたいと思います。これまでの「大豆新聞」でご紹介してきたとおり、この商品にはいくつかの特徴があります。それらについてまとめて紹介します。



## 地域の環境を守る商品

る器に「地域の竹」を使っています。これには理由があります。大東市にはたくさんの竹林があります。これらの竹林はボランティアの手によって間伐されていますが、間伐された竹は活用されず山に残されたままです。そこで、私たちにはできる限りこの間伐した竹を

していただきたいと考へています。きれいに洗えば、ペン立てや花瓶として使えます。口ウを流し込めば、キャンドルとしても使用できます。子どもの頃を思い出しながら、工作の材料としても活用してもらえればと考えていま

工さんをはじめ、多くの方々から応援をしてしていただきました。このプロジェクトは単に商品をつくるだけではなく、人の関係もつくり出しているところがもうひとつ成果だと考えます。これからも大東市内を中心にこの輪を広げていく予定です。

の住道駅前で行われるイベント『菜の花ごどもフェスティバル』を皮切りに、各種イベントで随時販売する予定です。（竹材の入手状況により変更の場合があります。）詳細は「納豆庵こがね屋」へお問い合わせください。

商品をつくるに

も「地元大東市」します。このプロダクトを「納豆庵こがね屋」は、女性5名が専門で新商品開発の「ナード・デザイン等環境デザイン学科やNPO法人環境デザイン・エキスパート・ネットワークが担当し、互いに協力し合い商品開発を進めてきました。いずれも大東市内で活動する組織です。また、この

女性がつくる納豆商品

このプロジェクトの中心的役割を担う「納豆庵こがね屋」は、女性5名が専門による的確な購買者ニーズの読み取りと女性ならではの繊細で丁寧な開発手順によって、関西人が好む味に上げたいくつもの納豆商品をつくりあげてきました。今回の商品開発もこの特徴を受け継ぎ、竹の器に適した大豆や納豆菌の選定、発酵にかける時間の調整等の作業を丁寧に進めてきました。その結果、竹に入れたまま納豆を発酵させるという奇抜な試みにも関わらず、天然納豆菌を使用した良質な商品が完成しました。そこで、女性がつくる」とし商品名を「竹姫納豆」としました。

## 今後の販売予定

女性がつくる納豆商品

(文 : E.D.E.N. 神庭)

## 海外からも注目される

### 職場環境

大東市には頑張っている中小企業や町工場が沢山あります。

その鏡といえる企業が大東市新田にある山田製作所です。山田製作所はステンレス等の素材を加工する会社です。経営陣である社長・専務のもと、社員の方は高いモチベーションで仕事をされており、日本のモノ作りの見本となる企業だと思います。特に社風としひげている(整理・整頓・清掃)活動は有名です。日本国内はもとより海外からも年間二百社が工場見学に来られるそうです。新聞・テレビ等に多数取上げられている「知る人ぞ知る」有名な企業なんですよ!

また、大東市地域産業振興基本条例の制定や中小企業家同友会大東支部の立ち上げにもご尽力されています。

山田製作所  
大阪府大東市新田中町2-41  
tel.072-871-0095

(文: 納豆庵こがね屋 吉田)

### 納豆作りの現場から

東日本大震災以降、関東のスパーの陳列棚から納豆が消えました。東日本の納豆メーカーが被災したため需要に対し供給が追いつかない状況に陥ったようです。

そのため西日本の納豆メーカーに想像を超える発注が入り、どの納豆メーカーも不眠不休で納豆を作り、東日本に納豆を送り込んだところ、もちろん弊社も不休で納豆を作り、毎日多数の納豆を東日本に出荷いたしました。スタッフ一同「被災された方の苦しみに比べたら……」を合言葉に毎日遅くまで納豆作りに励みました。

もちろん弊社も不休で納豆を作り、毎日多数の納豆を東日本に出

た。東日本の納豆メーカーが被災したため需要に対し供給が追いつかない状況に陥ったようです。

そのため西日本の納豆メーカーに想像を超える発注が入り、どの納豆メーカーも不眠不休で納豆を作り、東日本に納豆を送り込んだところ、もちろん弊社も不休で納豆を作り、毎日多数の納豆を東日本に出

たお客様から茨城の相撲部屋への納豆の直送のご注文をいただき、納豆を食べたお相撲さんには「大坂の納豆は美味しい」と喜んでいました。

この大震災において、私たちはお客様と向き合う機会をたくさんいただきました。お客様の喜ぶ姿は私たちの励みとなりました。これからもお客様のニーズにお応えできるよう、精一杯納豆を作つていただきたいと強く感じました。



### イベントカレンダー

#### 6月

日	月	火	水	木	金	土
			大阪 マルシェ	2	3	4
5	6	7	大阪 マルシェ	9	10	11
12	13	14	大阪 マルシェ	16	17	18
19	20	21	大阪 マルシェ	23	24	25
26	27	28	大阪 マルシェ	30	31	

#### 7月

日	月	火	水	木	金	土
			大阪 マルシェ			
3	4	5	大阪 マルシェ	7	8	9
10	11	12	大阪 マルシェ	13	14	15
17	18	19	大阪 マルシェ	21	22	23
24	25	26	大阪 マルシェ	27	28	29
31			ジャスト市			30

予定は変更になる場合があります。事前に弊社にお問い合わせ下さい。



発行 納豆庵 こがね屋 (小金屋食品株式会社)  
大東市御領3丁目10-8 072-871-8456  
<http://koganeya.biz/>

協力 大阪産業大学 EDDNewsletter 編集部  
NPO 法人環境デザイン・エキスパート・ネットワーク  
<http://www.npo-eden.jp/>